

福見(明德中)県勢初V

14歳以下 複も3位



男子シングルス14歳以下で県勢初優勝を果たした明德義塾中の福見優心。ダブルスも3位に入った(広島翔洋テニスコート)

ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。

| | | | |
|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ソフトテニスのJOC杯全日本ジュニア選手権は17、18日、広島市の広島翔洋テニスコートで3年ぶりに行われた。明德義塾中の男子3人が出場した県勢は、2年の福見優心がシングルス14歳以下で県勢初の頂点に立った。福見は木原祐翔・埼玉・上青木中と組んだダブルスでも3位に輝いた。シングルスの福見は、予選リーグD組を2戦ともストレート勝ちで突破し、決勝トーナメント1回戦は4-1。準決勝で萩谷侖磨(兵庫・姫路東中)、決勝で塚本光琉(愛知・朝日丘中)のU14日本代表勢をいずれも4-2で破った。 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 |
| 福見以外の県勢は、ダブルス17歳以下とともに3年の加藤敬基、木本瑠 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 | ソフトテニス JOC全日本Jr. 優が8強入りした。 |

全中の悔しさを力に

アンダー世代の上位選手しか出られない国内トップの大会で、男子14歳以下に初出場した福見(明德中2年)が県勢初の快挙を成し遂げた。シングルスの頂点に駆け上

一戦必勝で臨み、伸び伸びとしたプレーでシングルの予選を勝ち上がった。上位8人の決勝トーナメントで1回戦を突破して県勢最高成績だった19年前の3位に肩を並べると、決勝では全国小学生大会ダブルス連覇の美績を持つ塚本(愛知・朝日丘中)も退けた。

ハイライトに挙げたのが、日本代表の萩谷(兵庫・姫路東中)との準決勝。変則フォームから繰り出されるレシーブの強打に「足が出なかった」。

第4ゲームを奪い返されて2-12。しかし、ここで猛練習を積んできたネットプレーが生きた。ひねりの鋭いツイストショットを拾って反撃し、要所ではサーブミスを決めて2ゲーム連取。今夏の全国中学校体育大会(全中)を引き合いに、「連年の団体3位に『終わってしまった』悔しさが、力になりました」と振り返る。

宿毛市の平田小から明德中へ。全国の強豪の一人になった教え子に、同校の宮地監督も「次はどんな景色を見せてくれるか」目を細める。快挙もトップ選手への一里塚。

福見は「来年の四国全中でも決勝のコートに」と成長を誓った。

(横田幸成)

2022年9月19日 高知新聞